

第 67 回大腸癌研究会 「括約筋切除を伴う肛門温存術の妥当性」プロジェクト 議事要旨

日時： 2007 年 7 月 5 日(木) 13:00 ~ 14:00

場所： 神戸ポートピアホテル 2F つつじ

QOLアンケートの回収状況に関して

添付資料1のごとく報告。

回収率をさらに上げるため、アンケートを返送していない患者に対してアンケート送付の催促を行うことを検討。

その方法として、患者の診療に関係のない第三者が電話連絡をする、差出人を事務局として催促状を郵送する、差出人を各施設として催促状を郵送する、などの意見があがったが、アンケート結果にバイアスがかかるという意見もあり、問合せ方法については寺本班長から橋本教授に確認することとした。ただし、担当医が外来診療などで患者に直接催促することは禁止する事を確認した。

今後の方針について

早急にアンケート回収方法について橋本教授に問合せ その結果をうけて今後2ヶ月程度の回収期間延長をし、回収に努める。

回収済みアンケートのID番号のみを各施設に連絡する(未回収者の確認)。

班員からAPR症例が少ないとの意見があり、久留米大学に同時期のAPR症例を新たに提出して頂くことになった。

アンケートの今後の使用法について

QOL 票の一般使用の今後の可能性について

QOL の集計結果は各施設にフィードバック可能なのか

QOL 票は各施設で個別に使用してもよいのか

QOL の分析方法の詳細について公表は可能か

寺本班長から橋本教授へ直接質問し、次回に報告することになった。

成績の報告について

Baiological result

QOL result の2つに分けて報告することを確認。

その他

今回、静岡県立静岡がんセンターからは、石井正之先生・斉藤修治先生が出席。同施設においては、将来的にも倫理委員会の承認を得られる見込みがないことから、今後はオブザーバーとして参加。

